

# 序

神経ブロック教育の現場においては、ハンズオンワークショップに参加することで、インストラクターの医師から現場ならではの貴重な知見や技術的なコツを直接学ぶことができる。しかし、こうした実践的なニュアンスを忠実に伝える教科書はきわめて少ないのが現状である。本書は、あたかもワークショップで直接指導を受けているかのような臨場感と実用性を追求し、各分野のエキスパートである指導医諸氏の協力のもと執筆されたものである。

神経ブロックの種類は臨床で本当に必要なものだけに限定したため「最新のブロック！」のようなものはないが、逆に記載した神経ブロックはすべて習得すべき最重要ブロックばかりである。解剖図は、過度な情報を排し、現場で真に必要となる要素だけに限定した簡潔なシェーマとして掲載した。また、本書の特徴の1つに実際の患者に対して著者の先生が神経ブロックを施行する手技動画を視聴できる点があげられる。YouTube等で汎用的に入手可能な動画とは一線を画し、きわめて実践的で教育的価値の高いものである。さらに、神経ブロックの手技のみならず、その適応や禁忌に関しては十分な配慮を行い、安易な導入による合併症発生や手技の誤用を防ぐ観点から詳細に解説した。必要な物品や薬剤も網羅し、本書一冊で神経ブロックを安全かつ確実に施行できるよう努めた。

神経ブロックをはじめたばかりの先生でも、本書を契機に安全に手技へ挑戦し、より多くの患者が無痛かつ快適な周術期を迎える一助となれば、編者としてこれ以上の喜びはありません。

最後に、執筆者各位の多大なご尽力に重ねて心より感謝申し上げます。

2025年6月

東京女子医科大学 麻酔科学分野  
笹川智貴